



「親子でおこづかい会議」

令和7年1月7日（火）10:00～12:00

総合生涯学習センター 第1研修室

講師：土井 由紀子
（キッズマネーステーション事務局）



お年玉をもらう冬休みの機会に、子どもとその保護者で、おこづかいのつかい道を考えることを通してお金が社会や自分の人生にはたす役割について学ぶ講座を行いました。



お金ってどんなもの？

劇をまじえてお金の由来、お金は大人が社会で労働の対価として得ることや、お金を支払うことは、感謝の印であることを楽しく学びました。





「おこづかいを上手につかうための練習をして、お金のセンスを

マスターしよう」

お金の支出は、「自分のためにつかう」「人のためにつかう」「ためる」をバランス良く保つことで将来の幸せにつながることを学んだあと、保護者と子どもで話し合って、『おこづかいけいやくしょ』を作成しました。



2025年、おこづかいスタートして『〇〇を 頑張るぞ』宣言

保護者と子どもに分かれて、保護者はお金の教育の必要性について学び、子どもは色鉛筆などを使って、今年は何を頑張りたいか目標をポスターに書き、講座の最後に発表しました。

次の日が始業式で、インフルエンザが猛威をふるっている中でも多くの保護者と子どもに参加していただきました。はじめは緊張気味だった子どもたちも、最後にはみんなしっかりした目標を発表し、一年のスタートにふさわしい学習の場となりました。

参加者のアンケートより

- お金のこと、物の価値や働くことへの考え方などすごく勉強になった
- 家庭ではなかなかお金のことの話ができないのでよい機会だった。ありがとうございます
- 話し方が上手で親も子も集中して聞けました。
- お金に関してどう教えたらいいのか知りたかったので良かったです
- おこづかいを取り入れるきっかけにしたいと思いました。
- 親の覚悟！心に留めたいと思いました

